

認定こども園設置連絡会での説明内容や主な意見交換等についてお知らせします。
説明資料は下記のQRコードからご覧ください。

◇第2回（仮称）せいぶ認定こども園連絡会（令和4年11月23日）



◇第2回（仮称）とうぶ認定こども園連絡会（令和4年12月10日）



◇第3回（仮称）ちゅうぶ認定こども園連絡会（令和5年1月28日）



認定こども園の名称案の決定について

現在、仮称となっている認定こども園（3園）の園名について、市民公募及び名称選定検討会議での地域や保護者等からの意見聴取を経て、教育委員会として正式名称案を決定しました。今後、この正式名称案を盛り込んだ「箕面市立幼保連携型認定こども園条例」の改正案が市議会でも可決されれば最終確定となります。

再編対象	認定こども園移行後 (現行名称)	認定こども園移行後 (正式名称案)
・萱野保育所 ・かやの幼稚園 ・なか幼稚園	(仮称) ちゅうぶ認定こども園	かやのこども園
・桜ヶ丘保育所 ・せいなん幼稚園	(仮称) せいぶ認定こども園	せいなんこども園
・東保育所 ・とよかわみなみ幼稚園	(仮称) とうぶ認定こども園	とよかわこども園

※いずれも、「箕面市立」が前につきます。

名称案選定の流れ

- ①園名について市民公募（3園合計で470件の応募）
- ②「名称選定検討会議（地域、保護者、園所、行政で構成）」にて応募作品について意見聴取
- ③検討会議での意見聴取結果を踏まえ、教育委員会として上記名称案を選定（選定理由）
 - ・委員からの最も多くの支持があったこと
 - ・園の立地を地理的にイメージしやすいこと
 - ・なじみある名称案を用いることで「地域への愛着を」という地域の願いに答えられること
 - ・短くシンプルかつひらがな表記により、就学前児童も呼びやすく覚えやすいこと
 - ・3園の名称の統一感があること

【ちゅうぶ】認定こども園化に向けた施設改修について



◇かやの幼稚園側 令和5年度に改修

主な改修内容	目的
① 1階トイレに3歳児用小便器を設置	新たに3歳児が移動してくるため
② 1階保育室へのエアコン設置（未設置箇所のみ）	クラス数の増に伴い保育室を整備するため
③ 1階に給食室（厨房）を新設	幼稚園側で新たに給食を提供するため
④ 1階の職員室を形状変更	給食室の新設に伴うレイアウト変更
⑤ 1階の保健室を移設	給食室の新設に伴うレイアウト変更
⑥ 2階トイレに3歳児用小便器を設置	新たに3歳児が移動してくるため
⑦ 2階会議室を職員更衣室に用途変更	給食室の新設に伴うレイアウト変更（会議室は遊戯室を活用）
⑧ 駐輪スペースへの屋根設置	保護者の利便性向上のため
⑨ 駐車スペースの増設	保護者の自動車送迎に対応するため（主に保育園コース）

◇萱野保育所側 令和6年度に改修

- 令和6年度に3～5歳児が幼稚園側に移動し、保育室の空きができた後に改修工事を実施します。
- 保護者の利便性向上や、園児の安全性向上（災害時に円滑に避難）を目的として、1歳児の保育室を1階に移します。

主な改修内容	目的
⑩ 1階保育室（1・2歳児）の床貼り替え	衛生管理をしやすい床に変更するため
⑪ 1階保育室（1歳児）に調乳室を新設	2階から1階に1歳児が移動することに伴うもの
⑫ 1階保育室への図書コーナーの移設	図書を活用しやすくするため

【ちゅうぶ】幼稚園施設見学及び園児の交流活動等について

- ・認定こども園への移行に向けて、萱野保育所・なか幼稚園在籍の保護者を対象に、かやの幼稚園の見学機会を設けます。
- ・また、保育活動においても、認定こども園移行に伴い、子どもたちが過ごす環境の変化も見据えて、園所間の交流の機会をこれまで以上に設けます。（交流活動を従来の5歳児から、2～4歳児にも拡大）

	土曜日	平日
日時	令和5年4月22日(土)10時00分～ 令和5年5月20日(土)13時30分～	令和5年5月10日(水)以降、随時 月～金曜日
場所	かやの幼稚園	
申込	事前申込制（令和5年4月以降に申込書を配布予定）	
備考	お子様連れで構いません。車でのご来園はご遠慮ください。	

【ちゅうぶ】認定こども園開園に向けた今後のスケジュールについて

- ・認定こども園開園までの主な作業スケジュールを共有しました。
- ・また、作業スケジュールを踏まえた今後の認定こども園設置連絡会の開催スケジュールを確認しました。（詳細は資料をご覧ください。）

今後の主な保護者説明会等の予定

令和5年4月	かやの幼稚園施設見学会開始
5月	かやの幼稚園施設改修にかかる説明(かやの幼稚園保護者向け)
6月	認定こども園設置連絡会
12月	認定こども園設置連絡会
令和6年1月～2月	認定こども園開園に向けた保護者説明会(在園保護者向け)

【ちゅうぶ】保護者アンケートの実施について

- ・認定こども園への移行に向けた検討にあたり、園の活動やクラス名についての保護者アンケートを実施します。（詳細はライデンメール等でお知らせ）

(対象) 萱野保育所、かやの幼稚園、なか幼稚園の保護者

(時期) 令和5年2月中旬から下旬

(内容) ①各園所の取り組みで認定こども園移行後も引き継いでほしいもの

②クラス名称(計8クラス)のアイデア募集

連絡会での主なご意見等

(せいぶ)

質問・ご意見	回答
3歳児の保育園コースに空きがあれば桜ヶ丘保育所の持ち上がり以外の子どもも受け入れるのか。	空き状況による。優先は桜ヶ丘保育所の在園児となる。
3歳児の空きがあれば、就労して2号認定子どもとして認定こども園に入園できると思うが、空きがあるかどうか、いつ分かるのか。	2号認定の保育園コースは入所選考が必要であり、空きがあるからといって必ず入園できるわけではない。入所選考は毎月実施しており、その都度空き状況が変わる。
幼稚園コースの保護者は駐車場が基本利用できないとのことだが、条件付きで幼稚園コースの保護者も利用できるようにしてほしい。	幼稚園コースであっても、個々の事情により配慮が必要と判断した場合には、自動車送迎を認めることもあると考えている。
PTA・保護者会についての保護者負担が大きい。PTA関係の行事は平日の午前中が多く、保育園コースのかたは出席ができない。幼稚園コースの保護者だけに負担がかかることになるかとバランスが取れない。他市のこども園ではどうされているか情報があれば教えてほしい。	他市への聴き取りでは、認定こども園移行のタイミングで活動内容を負担の少ない内容に見直しされているところもある。認定こども園移行後も、園の活動等に関する保護者との連携は非常に大切なものと考えているが、保護者負担にも十分配慮が必要と考えている。市内の他地域でも今後の保護者活動についての検討をされるため、検討状況については共有させていただく。

(とうぶ)

質問・ご意見	回答
東保育所が0～2歳児の乳児特化型保育園になった場合、部屋数が余ると思うが、余った分0～2歳児の定員を増やすのか。	定員を増やす予定は無い。空き部屋を含め、施設の活用方法は今後検討していく。
東保育所が0～2歳児の乳児特化型保育園になった場合、0～2歳児の園の先生が何人か3歳児の園に持ち上がってくると安心だが、そのような配置はできないか。子どもにとっての安心感を作してほしい。	民間園の職員がとうぶの認定こども園に持ち上がることは難しい。ただ、子どもたちが安心できるような方策は確かに必要であるため、具体的な手法は今後の検討にはなるが、園同士の交流のようなものができればと思う。
幼稚園コースの給食費が月額3,000円から5,500円となっているが、5,500円は高いのではないか。	お示ししている給食費は他自治体の額も参考にした検討中のものであり、5,500円はその最大値。なるべく最大値に寄せない方向で検討している。

連絡会での主なご意見等

質問・ご意見	回答
<p>預かり保育の時間設定を30分単位等細かく区切ることはいか。幼稚園コースのお迎えが14時の場合、働いている保護者がお迎えに間に合わず、「あと30分だけ利用したい」といった場合も、一律17時までの金額設定だと負担が大きい。</p>	<p>職員配置のコストもあり、30分単位は検討していない。ただ、幼稚園コースであっても、保育園コースと同等の就労等で保育が必要なご家庭は、「新2号認定」として、預かり保育料が上限の範囲で無償となる制度がある。新2号認定の対象であるかどうかは、入園申込の際に確認いただける。</p>
<p>令和9年度のとうぶ認定こども園開園時には、東保育所の先生も認定こども園に移籍するのか。</p>	<p>子どもたちや保護者の安心のためにも、一定数は認定こども園への配置を行いたいと考えている。</p>
<p>認定こども園移行後も支援児の受け入れはしてくれるのか。</p>	<p>支援が必要な児童を受け入れていくスタンスは変わらない。また、公立園所の再編と併せて、令和4年10月に箕面市保育・幼児教育センターを開設し、公立民間がともに保育・幼児教育の質を高め合っていけるように研修の充実や巡回訪問等に取り組んでいる。最終的には、どの園であっても、支援保育をはじめ、充実した保育・幼児教育が受けられるようになることをめざしている。</p>

(ちゅうぶ)

質問・ご意見	回答
<p>駐車スペースは何台の想定か。</p>	<p>現在、建築部門や設計事務所と詰めているが、3台程度になる見込み。ほか、実現できるかまだわからないが、園の近隣の駐車場も借りることができないか検討している。決まり次第お伝えする。</p>
<p>かやの幼稚園の施設見学は手厚い対応でありがたいが、1年を通して平日に幼稚園の先生が対応するのは負担が大きいのではないか。4月・5月のみで良いのではないか。</p>	<p>ご配慮に感謝する。保育園コースの保護者は就労等の関係もあり、見学可能日を狭めすぎると見学が難しいご家庭もあると思う。なお、8月の夏季休業中は園児もいないため、見学は行わない。</p>
<p>今後の連絡会の実施時期が従来と変更になる理由は。</p>	<p>認定こども園移行に向けた実際の作業スケジュールが見えてきたため、情報提供等が可能なタイミングでの開催に変更するもの。連絡会とは別に、不明な点やご意見があれば、適宜対応する。</p>

連絡会での主なご意見等

質問・ご意見	回答
認定こども園に関する諸々の検討事項について、決定前に連絡会で共有してほしい。	可能な範囲で事前にお伝えできるようにしたい。ただ、例えば保育・教育目標のように、公立の保育・幼児教育施設としての根幹部分として市・園所でしっかり考えて固めるものもあるので、その点をご理解いただきたい。
2月に実施する保護者アンケートの結果について、次回連絡会を待たず、何らかの手段で保護者に共有してほしい。	アンケート結果が取りまとめ次第、速やかに共有させていただく。
保護者からの「園の手伝いをしているPTAの役割はどうしたらよいのか」との問いに対して、「園の活動は園職員で行うことを原則とする」との回答があるが、これは決定事項か。	<p>これまで、園の活動について、保護者の方々からの沢山のご協力をいただき、より良い活動を園職員とともに一緒に創り上げてきてくださったことはありがたく、認定こども園移行後も園との連携やご協力について引き続き保護者の方々をお願いしたいと考えている。</p> <p>ただし、保護者負担の観点からも、園の活動については保護者のお手伝いありきではなく、まずは園職員で実施できることが基本であると考えている。その上で、保護者の方々にとって、無理のかかりすぎないように園にご協力いただける手法等について保護者とともに考えていきたい。</p> <p>「園の活動は園職員で行うことを原則とする」との表現については少し言葉足らずであるため、「認定こども園連絡会だより 第3号」（令和4年11月発行）QAの表現を見直したい。</p>